

会議録

1. 会議名	第1回出雲市立総合医療センター経営強化プラン策定委員会
2. 開催日時	令和5年(2023)3月23日 木曜日 14:00~15:15
3. 開催場所	出雲市立総合医療センター本館4階 大ホールくれすと
4. 出席者	<p><委員> 佐野委員(委員長)、小林委員(副委員長) 原委員、高橋委員、佐々木委員 大島委員、三浦委員、久家委員 小汀委員、金本委員、鳥屋尾委員</p> <p>(以上、順不同)</p> <p><事務局> 出雲市病院事業管理者、院長、副院長、事務局長、病院総務課長ほか</p>
5. 次第(会議等において検討された事項等)	
<p>開会</p> <p>1. あいさつ</p> <p>2. 委嘱書の交付</p> <p>3. 委員、職員紹介 資料1~3</p> <p>4. 委員長・副委員長の選任</p> <p>5. 議事</p> <p>(1) 総合医療センターの概要について 資料4</p> <p>(2) 経営強化プランの策定について 資料5</p> <p>閉会</p>	
6. 担当部署	出雲市立総合医療センター 病院総務課
7. 会議要旨	以下のとおり
事務局	開会
事業管理者	<p>1 事業管理者あいさつ</p> <p>本日は年度末のお忙しい中、第1回出雲市立総合医療センター経営強化プラン策定委員会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、委員の皆様には、当センター経営強化プラン策定委員会の委員にご就任いただき、心より感謝を申し上げます。</p> <p>さて、経営強化プランにつきましては、昨年3月末に総務省から示された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づきまして、公立病院を対象に「経営強化プラン」を策定するよう要請がございました。これを受けまして、当センターでは昨年5月から院内策定ワーキングの開催や、総務省</p>

	<p>所管のアドバイザー派遣事業を活用しながら、当センターの現状把握や課題抽出を行い、経営強化に向けた取組について検討してきたところでございます。今後は、プランの内容について、委員の皆様にご審議いただき、県や出雲医療圏の医療機関との協議を行いながら、令和5年度末を目途に「出雲市立総合医療センター経営強化プラン」を策定することとしております。</p> <p>本日は、初回でございますので、本会の委員長等の選任後、総合医療センターやプラン策定の概要について事務局から説明させていただきます。本日は、短時間ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。誠に簡単ではございますが、私からのご挨拶とさせていただきます。どうかよろしくお願ひします。</p>
事務局	<ol style="list-style-type: none"> 2 委嘱書の交付 3 委員、職員紹介 4 委員長・副委員長の選任 <p>委員長に佐野千晶委員、副委員長に小林幹治委員を選出</p> <p>委員長あいさつ</p> <p>地域の医療機関というのはそこにあって当たり前ものではないということを最近つくづく感じています。病院のあり方というのを考える上では、住民の皆様とか患者の皆様が医療に少しでも関心を持ってもらうとか自治体との連携というのが非常に大事な時代となっています。この総合医療センターが地域にさらに根差して、さらに質の高い医療を提供するには、どういった風が変わっていかなくてはいけないかということをお委員の先生方、皆様の意見をいただいて、ではどうすれば良いんだという所を、アイデアとかヒントとか建設的な意見とかを色々な立場の方からいただきたいというのがこの委員会の趣旨だと思っています。この病院がどういうふうに使われているのかという事について、職員だけでは分からない事も実際には多いのですね。ですので、外部の評価者を合わせて、もちろんこのプランを策定するというのも目的にあるのですが、外部から見たこの病院の在り方というところで忌憚ない意見をいただけたらと思っています。</p> <p>国からの通知でありますように、持続可能な地域医療体制を確保しつつ、地域から必要とされる医療機関として継続していけるような。また、感染対応を通常医療に落とし込んでいくというミッションと言いますか、各病院に求められているところもありますのでよろしくお願いします。本日の個人的な希望としましては、委員の皆様と顔が見える、顔が分かるような関係構築が本日はできたらというふうに考えております。短い時間ではあります、どうぞよろしくお願ひ致します。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは設置要綱第5条によりまして、委員長が会議の議長となりますので、以降の進行は委員長にお願いします。</p>

委員長	<p>それでは、議事に移ります。本日の議事は2件です。まず、議事の「(1) 総合医療センターの概要について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議事 (1) 総合医療センターの概要について 【資料4「総合医療センターの概要について」の説明】</p>
委員長	<p>先ほど、総合医療センターの概要について説明がありましたが、委員の皆様、ご質問、ご意見等がありますか。</p>
委員	<p>私は、夫婦でずっと十何年間、こちらの病院でスプリングドックを利用させてもらっていて、今年もそのために病院に来ました。その時に、部屋全体がピンク色に模様替えというか、ピンクが必ず良いわけではないけれど、人間を和ませるような感じになっていて良いなと思ひまして、看護師さんにその旨を言ったところ「はあ？」と言われて、本当はちょっと腹が立ったところがあります。こういうことはどうでも良い話かもしれませんが、もう少し関心を持ってほしいなど。</p>
事務局	<p>スプリングドックをご利用いただきありがとうございました。改めてお礼を申し上げます。この度は不愉快な思いをおかけいたしまして申し訳ございませんでした。日頃から看護師はじめスタッフにはもう1回来てみたいなどというふうに思っていただけのような接遇を心がけるように指導しております。今日いただいたご意見の方もまた持ち帰りましてスタッフに周知したいと思っておりますので、貴重なご意見ありがとうございました。</p>
委員	<p>これまで番号で呼んでほしいという皆さんのお声が多かったのですが、この度システムを導入されて番号で呼んで下さるようになって、とても分かりやすいし次の順番待ちの所にもちゃんと番号が出ているのでそろそろだなとわかってよいと思います。お聞きしたいのは、私達目が見える者はそれで良いのですが、目の見えない方にはどのような対策・対処なさっているかをお聞きしたいと思っております。</p>
事務局	<p>この度は1月に電子カルテの関係の更新をさせていただいて、番号あるいは音声でのお呼び出しもさせていただいております。なかなか音声でも聞き取りにくい方に対しては来られた時にそういう患者さんということが分かれば、こちらの方で把握してそれに対する対応をさせていただいているような状況でございますのでどうぞよろしく願いいたします。</p>
委員	<p>お医者さんにお聞きしたいのですが、今、問題になっているヤングケアラーの方</p>

<p>委員長</p>	<p>ですね、そういう方が、例えば家族の方とかご両親とか連れてきてらっしゃる方がいらっしゃるのでしょうか？</p> <p>病院の場面ではないんですけど、県内にも2～3団体がございまして、医学生の中にもヤングケアラーの子が結構いまして、そういう相談はあるんですけども、病院の側はどちらかというと介護している人、介護者の方を休ませるという意味で「レスパイト入院」というんですけども、そういうのを受け入れているかということであればたぶんお答えできると思います。</p>
<p>院長</p>	<p>年齢構成からしてもヤングケアラーの方ということは私が知る限りではないと思うんですけども、ありましたら申し訳ないですけども。レスパイトというのかなり頻回に事例がございまして、在宅診療もしている関係で、やはり在宅を中心に一生懸命ご家庭でみられているご家族の休息というのも非常に重要になりますので、定期的に、病院が空いているときにはレスパイトとして受け入れる体制を整えてきておりまして、実際のところ増えている状況でございます。また高次医療機関とも連携してレスパイトを地域連携含めてチーム医療として受け入れているというのが現状でございます。以上です。</p>
<p>委員</p>	<p>決算書の方を見させていただいたうえでご質問をさせていただきたいのですが、入院患者数、そして外来患者数が令和2年から3年にかけては当然ながら減っております。コロナの関係で減っていると思うんですけど。減っている事を前提にして考えますと、通常ならば損益の面ではマイナスというような感じがするのですが、この決算、令和3年の特徴的なところは医業外収益の補助金のところが5億1千2百、従来に比べたら突出した形での補助金の額があって、それがいわば同年度の未処分利益剰余金のほとんどを占めている状況と見る事ができないかと思います。そうした時に令和3年の補助金のこのあり方というのは、令和4年もそういった形になるのか、あるいは令和5年以降この補助金の役割とはどういった形で推移するのか、それがおそらくこの経営強化プラン策定の中ではかなりのポイントを占める感じがし、これがなかった時にSDGs、持続可能な状態をどうやって作っていくのかというのがこの委員会の役割なのかもしれませんし、そのあたりの見通しとそれからこの補助金の内容というのが、コロナかもしれませんが、どういったかたちのものなのか、そのあたりをお聞かせいただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>先ほどのコロナ禍の補助金の事でございますけれども、概要の説明の中でもございましたが、令和3年の8月末にコロナの重点医療機関に指定されまして、コロナの入院患者様用の病床をいくらか病院に確保している関係で病床が空きますので、入院患者数の動きというのはそういった状態になっているというところでございます。そして補助金につきましては、令和3年度につきましては約4億4千万のコロナの病床確</p>

	<p>保の補助金をいただいているということでございます。令和4年度につきましても今のところだいたい6億2千万くらいの病床確保の補助金はいただけそうです。もうちょっと増えるかもしれませんが、大体それぐらいの補助金をいただけそうだという状況になっております。それで令和5年度につきましては3月10日くらいに国の方から見直しの方向性が示されまして、9月末までは補助単価を半分にして、補助金を公布しようというふうな状況になっているところでございます。そうしますと今の状況でございますと令和5年の10月以降はコロナの病床の補助金がないという形になってまいりますので、この経営強化プランの目指すところになりますけれども、コロナ後の病院経営のあり方を検討していただくという形になってまいりますので、これから様々な資料をご提供して検討していただくこととなります。そういったコロナ後を見据えたこの病院のあり方を検討していただくということになりますのでよろしくお願いたします。</p>
委員	<p>コロナ後を見据えるという格好になると、この補助金がなくなった時に、あるいは逆に、この補助金が入るといことはその補助金に対しては紐づけの支出もあるという格好で考えるような補助金なんでしょうか？</p>
事務局	<p>補助金の性質としては本来入院患者様の入院に対する対価としていただくものを補助金が肩代わりしたという形になります。本来入院患者さんが入っておられれば、診療報酬とか入院患者様からいただくような形になりますが、受入に備えて空床を確保するためにそれを補填する性質のものでございます。</p>
委員	<p>そうしますと、キャッシュの現金収支、これが4億と大きく上がっていて、これが多分4年度も同じような形でおそらく推移していると、5年度の途中から少し落ちていくような格好ですと。キャッシュそのものとしては今の段階は4億が、例えば4年の後の見通しからいってこれが倍ぐらいになるんですか？</p>
事務局	<p>倍にはならないと思いますけども、支出のほうが増えてございますので、今のところ何とも言えないですけども、少なくとも現金が減らない状況にはなるのかなというふうに思っております。</p>
委員長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。なかなかこの病院もコロナ禍の間はかなりの医療ひっ迫で自治体・国等が医療崩壊しないように助けたというところがあります。また実際には医療ひっ迫というか、なかなか感染対策も手間がかかりますので、補助金が半分か特定のものはありませんので、そういったことを考えるとあらゆる病院が戦場になった後片付けをしなくちゃいけないような状況で、非常に厳しい側面だとは思っています。</p> <p>他ご意見等、病院全体の概要とかですね、急性期から慢性期までの病棟入院、入院</p>

事務局	<p>ベッドを持っておられて、その在宅に向けてシームレスな途切れがないような医療を展開していこうというようなお話だったように理解していますが、何かありますでしょうか。では時間も迫っておりますので、議事の「(2) 経営強化プランの策定について」事務局から説明をお願いします。</p> <p>(2) 経営強化プランの策定について 【資料5「経営強化プランの策定について」の説明】</p>
委員長	<p>先ほど、経営強化プランの策定についての説明がありましたが、委員の皆様、ご質問、ご意見等がありますか。</p>
委員	<p>よくテレビとかでも医師・看護師不足というふうに耳にすることが多々あるんですが、この医師・看護師不足というところは、実際お医者さんとか看護師さんが辞められて次が入ってこないというところで不足ということになってきているのでしょうか？例えば県内にも看護師等を養成する学校というのが何校かあって、毎年看護資格、国家資格をとっていらっしゃる方もいると思うんですが、そういった方々が病院の方に就職なりを必ずするというわけでもなくて、資格者はいっぱいいるんだけどなり手がいないというところで不足なのか、というところがもし分かれば教えていただけたらなと思います。</p>
副院長	<p>当院では定年退職される方、途中でやめる方もいらっしゃいます。そうした場合に、次の年には新卒ですとか経験者の方も入ってこられるという状況で、人数的には説明の中でもお示ししていますけれども、一定の人数は保っている状況には、数的にはそういうふうになりますけれども、若い職員が増えてきていて、育児休暇、産休という方が以前に比べて徐々に増えてきているという状況です。出てこられても時短とって働く時間を短縮して正職員でも1時間、2時間等働く時間が少ない方も増えてきておりまして、実質人数はいるけれども定時の時間を働く人数が減ったりですとか、夜勤をする方も、皆が同じように夜勤をこなすという感じではなくてやっぱりなかなか家庭の事情で夜勤の回数が少ない方もいらっしゃったり、それが当院の現状です。ですので人数的にはいるかなということではあると思いますけれども実践力としてはなかなか、当院では少し不足しているという状況になっております。以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。まだまだ医療需要が高い中で医療者の働き方改革も控えており、その考え方とか、あと組織全体の高齢化がかなり進んでいて、患者さん等の高齢化もあつたりして、スタッフの高齢化もありますのでその辺でなかなか数として合わせられても難しいというところもあるかと思えます。他に。</p>
委員	<p>今、スケジュール的に4回くらい、策定委員会のスケジュールが示されておしま</p>

<p>事務局長</p>	<p>す。なかなか医療に精通していないなかで、先ほどのコロナの補助金等に関して良い意見が出ましたけれど、私たちにはどういう意見が求められるのでしょうか。やはり携わったからには良いストーリーで終わりたいなと思っています。こういうジレンマというかそういう気持ちがあるなかで、なにか適切な言葉やアドバイスがあればよろしくをお願いします。</p> <p>今回4回開かせていただいていたところでございますけれども、いずれにしましても素案的なもの、今日資料でお示ししております新改革プランの時の資料をお付けしておりますけれども、こういった内容について当センターがこれから医療提供を行ううえでどんな医療提供が必要か、やるべきなのかというところの内容についての素案ですね。それに基づいた経営、コロナの補助金には頼らないということを含めたものですが、今後そういった医療提供をしていく中での経営のシミュレーション的な事など含めた叩き台をお示ししたいと思っております。それに対して皆様方がこれを行ったほうが良いのではないかとか、この辺気を付けてやるべきではないかというようなご意見とかをいただきながら、良いものを作りたいなというところをお願いさせていただきたいというところでございます。よろしくお願いいいたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>大変熱心なお言葉をいただきありがとうございます。やはり外部の意見をいただきたいという病院の意向なので、こういう病院になってくれたらいいなというところを経営強化プランというふうな名前がついておりますが、実行できるかできないかは別といたしまして、ここにこういう病院があるのが良いというところを挙げていただくという趣旨でございます。今日は座長の不手際で終了時間を超えてしまったのでこの辺りで終了したいと思っておりますが、今聞いておきたいことはございますか。では終了後また後日でも構いませんので事務局の方へご質問いただければと思います。本日の議事はこれで終わりましたので事務局に一旦お返ししたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>佐野委員長ありがとうございました。また、委員の皆様には、ご審議をいただきありがとうございました。本日いただきましたご意見は、プラン策定の参考とさせていただきます。最後に、院長の佐藤からご挨拶を申し上げます。</p>
<p>院長</p>	<p>院長あいさつ</p> <p>本日は皆さま足元も悪い中、またご多用中のなかご参集いただきまして、また長時間に渡りご議論いただきまして誠にありがとうございました。委員長の労をとっていただきました佐野教授には委員の皆様の意見を真摯に受け止めて的確な表現でまとめていただきまして大変感謝しております。また、委員の皆様から大変貴重なご意見をいただきました。本日のご意見は経営強化プランを策定する上で、大変貴重な資料、財産となるものであります。本日の議論を十分に吟味して、より良きプランにしていきたいというふうに思っております。</p>

	<p>さて、当院は本年度 70 周年を迎えております。この機会に振り返って 70 年の歴史の重みを痛感した次第でございますけれども、この病院の先人たちの作り上げてきたより良きところを継承して、国の方針にのっとり新しい風も取り入れながら、市民に信頼され地域とともに歩む病院を経営に重きを置いた新しいプランの中で、今後そのプランに基づいて、将来に渡り運営していきたいと思っておりますので、今後とも活発なご議論よろしくお願ひしたいと思ひます。本日は誠にありがとうございました。</p>
--	---